

・県間・部門間の取引状況を一覽的に把握できる東北7県(青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島、新潟)で唯一の表

■産業連関表とは

・「産業連関表」とは、特定地域である一定期間(通常は1年)に行なわれた、産業相互間および産業と家計、海外との間の財・サービスの取引が、把握できる限り余すことなく記録されている総合統計表である。

■通常の産業連関表

・通常は1国、1地域、1県の内部で行われる経済活動が対象である。
 ・よって、項目として移輸出入が立てられるとしても、以下の図のように、自地域以外との関係性は当該項目にまとめて記述されるため、通常の経済取引で生じる地域相互間(例えばA県-B県)の関係性を踏まえた分析は難しい。

(通常の産業連関表の一例)

	第1次産業	第2次産業	第3次産業	内生部門計	最終需要	移輸出	移輸入	生産額
第1次産業								
第2次産業								
第3次産業								
内生部門計								
粗付加価値部門計								
生産額								

■地域間(県間)産業連関表とは

・通常の産業連関表の制約を取り払うのが、「地域間産業連関表」(本表では「地域=県」のため「県間産業連関表」と表記)である。
 ・以下の図にあるように、同時に複数の県を対象とし、県間の取引状況を反映させて作成されるために、県相互の依存関係を踏まえた分析が可能になる。

(地域間表の例: 東北地域県間産業連関表)

	中間需要							最終需要					域内最終需要	東北域外移出	輸出	東北域外移入	輸入	生産額
	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	新潟	青森	岩手	宮城	秋田	山形						
中間投入	青森																	
	岩手																	
	宮城																	
	秋田																	
	山形																	
	福島																	
	新潟																	
	内生部門計																	
粗付加価値部門計																		
生産額																		

■まとめ

□通常の産業連関表の特徴

- ・1地域(国、県など)の産業経済活動が1枚の表で理解できる総合統計表
- ・波及効果分析が可能
- ・ただし、通常は地域間(県間)の関係性を踏まえた分析は難しい

□地域間(県間)産業連関表の特徴

(東北地域県間産業連関表の特徴)

- ・同時に複数の県を対象とするため、通常の産業連関表のポイントに加えて
- 県間の関係性を踏まえた分析が可能

東北地域県間産業連関表とは(2)地域間産業連関表が可能にすること

- ・東北7県内での、県間の経済取引を踏まえた産業構造を、県別、産業部門別に理解できる
- ・東北7県内での、県間の経済取引を踏まえた波及効果を、県別、産業部門別に分析できる

◆県間の経済取引を踏まえた産業構造分析が可能

- ・東北各県では様々な財・サービスが生産されている。もちろん、県内で消費されることも多いが、他県に輸送・移転(移出)して使用されるケースもある。
- ・県境を越えた需要と供給の関係性、交易の関係性を踏まえた産業構造を一覧できるのが本表である。
- ・具体的には、以下のような情報を本表から得ることができる。

例:A県で生産された「鉄鋼製品」部門の製品は
B県では10億円分「乗用車・その他の自動車」部門
で利用されている。

・上記の例は、A県とB県間の関係性であるが、本表では2県間に留まらず、計7県にわたる関係性の積み重ねにより、

「東北の産業が、各県各産業のどのような結びつきによって形成されているか」

を知ることができる。

・この県間・産業間の関係性を網羅した情報は、通常は手に入れることが難しい。その点、本表の導入により、これまででない県間の交易構造を踏まえた産業構造分析や、県間連携策などの分析・政策立案が可能になる。

◆県間の移出入関係を踏まえた波及効果分析が可能

- ・通常の産業連関表の利用方法としては、経済波及効果分析が広く知られている。
- ・東北地域県間産業連関表でも経済波及効果分析を行えるが、その結果は、県間の相互関係を踏まえた結果として算出される。
- ・本表を用いることにより、「ある県で生じた変化が県を越えて地域全体へと波及する様子」を観察することができる。

・例えば本表を用いると、以下のような分析が可能になる。

例:A県での「鉄鋼製品」部門に対する10億円分の
需要増は、B県には2億円分の波及効果(誘発)を、
東北地域全体では13億円の波及効果(誘発)をも
たらす。

3. 東北地域県間産業連関表とは (3) 見方

- ・基本は、通常の産業連関表の見方と同様。
- ・タテに見ると投入が、ヨコに見ると産出が分かる。
- ・違う点は、同じ表の中で『県別、部門別の投入・産出』が分かること(東北地域内の県別部門別移出入が見える)。

◇地域間表特有の見方の例(ヨコ)
 ・ヨコは産出にあたり、地域間表では自県分を除くと移出に該当する。
 ・よって、この例では、
 青森県における東北域内その他の県(部門)への「移出」となる。

		中間需要							最終需要							域内 最終 需要	東北 域外 移出	輸 出	東北 域外 移入	輸 入	生 産 額		
		青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	新潟	内生 部門計	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島							新潟	
中間 投入	青森																						
	岩手																						
	宮城																						
	秋田																						
	山形																						
	福島																						
	新潟																						
	内生部門計																						
粗付加価値部門計																							
生産額																							

◇地域間表特有の見方の例(タテ)
 ・タテは投入にあたり、地域間表では自県分を除くと移入に該当する。
 ・よって、この例では、
 青森県における東北域内その他の県(部門)からの「移入」となる。